

令和7年度山陽新幹線鉄道騒音に係る75デシベル対策達成状況調査仕様書

1 委託業務の目的・内容

鉄道事業者が平成29年度11月に計画した山陽新幹線の75デシベル対策が令和6年度に完了したことを受け、兵庫県内の沿線の騒音測定を実施し、対策の実施状況を確認するとともに、環境基準等の達成状況を把握する。

0

2 委託業務契約期間

契約締結の日から令和8年1月16日（金）まで

3 新幹線鉄道騒音測定について

(1) 測定項目

新幹線鉄道騒音

(2) 新幹線鉄道騒音の測定・評価方法

本調査は、「新幹線鉄道騒音に係る環境基準について（昭和50年7月29日、環境庁告示第46号）」に準じて実施すること。また、測定・評価の具体的な方法は、「新幹線鉄道騒音測定・評価マニュアル（令和7年6月、環境省）」（以下、「マニュアル」という。）を参考とする。

なお、新幹線鉄道騒音の測定に際しては、マニュアル6.3.2の注記5の措置を適用してもよい。

(3) 測定地点

以下の新幹線鉄道沿線上6箇所について、事前踏査を実施し、発注者と協議のうえ、測定地点を決定する。各測定場所においては、対象路線の測定地点側の軌道中心から概ね12.5m、25mの地点に測定点を設定する。

	測定場所	測定地点側の軌道 (上下の別)	候補地点 キロ程
1	明石市大久保町谷八木 付近	上	572 K 215 M
2	加古川市尾上町長田 付近	下	585 K 126 M
3	高砂市北浜町牛谷 付近	上	593 K 633 M
4	姫路市広畑区西蒲田 付近	下	606 K 302 M
5	揖保郡太子町太田 付近	上	609 K 668 M
6	たつの市揖保川町正條 付近	上	616 K 119 M

4 実績報告について

(1) 提出期限

令和8年1月16日（金）（期限厳守）

(2) 提出内容

- ア 業務完了報告書 1部
- イ 測定結果報告書 10部及びその電子データ2式（CDまたはDVD 2枚）
仕様は別添のとおり。以下の様式（Microsoft Excel）を含む。
 - ・新幹線鉄道騒音 地点別調査結果一覧表（様式1）
 - ・新幹線鉄道騒音 測定位置図（様式2）
 - ・新幹線鉄道騒音 測定記録個表（様式3）

5 関係機関との調整

(1) 本庁での打ち合わせ 2回（測定地点協議時、実績報告時）

受注者は業務の実施にあたっては、発注者と密接に連絡を取りつつ進め、進捗に応じて発注者の指示に基づき報告を行うとともに、必要な資料を提出するものとする。

(2) 鉄道事業者との調整 随時

鉄道事業者（西日本旅客鉄道株式会社）と必要な調整を行うこと。

6 測定に当たって実施すること

- ・測定器等については受注者が準備するものとする。
- ・あらかじめ測定計画を策定し、県に書面で提出すること（様式2を添付）。
- ・測定時には、近隣の住民に配慮すること。
- ・受注者は測定時に占有する場所が公道上にある場合は、所管の警察署に道路占有許可申請を行うこと。また、それ以外の場合は、土地の管理者等に同意を得ること。

7 その他

本仕様書に明記されていない事項または疑義が生じた場合は、発注者と受注者とが協議し定めるものとする。

8 報告及び連絡先

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1
兵庫県環境部水大気課（担当：春日）
TEL: 078-362-3285 FAX: 078-362-3966

(別添)

1. 報告書等の仕様及び記載事項

報告書等の仕様は、契約締結時における国等による環境物品等の調達に関する法律（平成12年法律第100号）第6条第1項の規定に基づき定められた環境物品等の調達の推進に関する基本方針（以下、「基本方針」という）の「印刷」の判断の基準を満たすこと。ただし、判断の基準を満たす印刷用紙の調達が困難な場合には、環境省担当官と協議し、了解を得た場合に限り、代替品の納入を認める。

なお、「資材確認票」及び「オフセット印刷又はデジタル印刷の工程における環境配慮チェックリスト」を提出するとともに、印刷物にリサイクル適性を表示する必要がある場合は、以下の表示例を参考に、裏表紙等に表示すること。

リサイクル適性の表示：印刷用の紙にリサイクルできます

この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料〔Aランク〕のみを用いて作製しています。

なお、リサイクル適性が上記と異なる場合は環境省担当官と協議の上、基本方針（<https://www.env.go.jp/policy/hozen/green/g-law/net/kihonhoushin.html>）を参考に適切な表示を行うこと。

2. 電子データの仕様

電子データの仕様については下記によるものとする。ただし、実施要領において、下記とは異なる仕様によるものとしている場合や、環境省担当官との協議により、下記とは異なる仕様で納品することとなった場合は、この限りでない。

- (1) Microsoft 社 Windows10 上で表示可能なものとする。
- (2) 使用するアプリケーションソフトについては、以下のとおりとする。
 - ・文章；Microsoft 社 Word（ファイル形式は「Office2010（バージョン14）」以降で作成したもの）
 - ・計算表；表計算ソフト Microsoft 社 Excel（ファイル形式は「Office2010（バージョン14）」以降で作成したもの）
 - ・プレゼンテーション資料；Microsoft 社 PowerPoint（ファイル形式は「Office2010（バージョン14）」以降で作成したもの）
 - ・画像；PNG 形式又は JPEG 形式
 - ・音声・動画；MP3 形式、MPEG2 形式 又は MPEG4 形式
- (3) (2) による成果物に加え、「PDF ファイル形式（PDF/A-1、PDF/A-2 又は PDF1.7）」による成果物を作成すること。
- (4) 以上の成果物の格納媒体は DVD-R 又は CD-R（以下「DVD-R 等」という。実施要領において、DVD-R 等以外の媒体が指定されている場合や、環境省担当官との協議によ

り、DVD-R 等以外の媒体に格納することとなった場合は、この限りでない。) とする。業務実施年度及び契約件名等を収納ケース及び DVD-R に必ずラベルにより付記すること。

(5) 文字ポイント等、統一的な事項に関しては環境省担当官の指示に従うこと。

3. 成果物の二次利用

(1) 納品する成果物（研究・調査等の報告書）は、オープンデータ（二次利用可能な状態）として公開されることを前提とし、環境省以外の第三者の知的財産権が関与する内容を成果物に盛り込む場合は、①事前に当該権利保有者の了承を得、②報告書内に出典を明記し、③当該権利保有者に二次利用の了承を得ること。

第三者の知的財産権が関与する内容の一部または全部について、二次利用の了承を得ることが困難な場合等は、当該箇所や当該権利保有者等の情報を、以下の URL からダウンロード出来る様式に必要事項を記入し提出すること。

(2) 環境省が保有するオープンデータの情報を政府が運用するオープンデータのポータルサイト「データカタログサイト e-Gov データポータル (<https://data.e-gov.go.jp/>)」に掲載及び更新情報を反映させるためのデータに関する説明（メタデータ）について、成果物と併せて以下の URL からダウンロード出来る様式に必要事項を記入し提出すること。

<https://www.env.go.jp/kanbo/koho/opendata.html>

4. その他

成果物納入後に受託者側の責めによる不備が発見された場合には、受託者は無償で速やかに必要な措置を講ずること。

新幹線鉄道騒音測定結果記録様式・測定位置図（地点番号 ○○）

調査日：令和○○年○月○日

路線名：○○○新幹線

測定場所：○○市○○付近

地域類型：I

キロ程：1235K678M

測定地点側の軌道：上り線

土木構造物の種類：高架橋

軌道の種類：スラブ軌道

<p>平面図</p> <p>騒音測定点</p> <p>民家</p> <p>15 m</p> <p>25 m</p> <p>新大阪方面</p> <p>新幹線</p> <p>東京方面</p> <p>写真① →</p> <p>写真② ↑</p> <p>測定地点側の軌道中心から最近接住居までの距離を記録</p> <p>※ 測定点と建物等（反射物）との距離 25 m：約2.0 m（民家の塀）</p>	<p>測定現場写真</p> <p>○m点後方より</p> <p>※測定点後方より全景を撮影</p>
<p>断面図</p> <p>1.2 m</p> <p>2.0 m</p> <p>約5.0 m</p> <p>25 m</p> <p>0 m</p> <p>※ 測定点と軌道面との高低差：約 3.8 m ※ 騒音対策実施状況：防音壁(直型) H = 2.0 m</p>	<p>東京側より</p> <p>※測定点側方より全景を撮影</p>

新幹線鉄道騒音測定結果記録様式・測定記録個表（地点番号 ○○）

測定日：令和○○年○○月○○日

路線名：○○○新幹線 測定場所：A市B町1-23付近（B小学校南側） 上り 地域類型：I

○時時点の気象条件 → 天気：(晴れ・曇り・小雨) 気温：○○℃ 風速：○○m/s 風向：(16方位)

騒音計：○○社製 型番○○ ウィンドスクリーンの形式：○○社製 型番○○

暗騒音の状況： $L_{Aeq,T}$ ○○dB、 $L_{A95,T}$ ○○dB、測定の妨げとなった主な騒音源 ○○○○

※評価に用いた最大騒音レベルの値に下線を引く

列車番号	測定時刻	上下別		最大騒音レベル $L_{A,Smax}$ (dB)			列車速度		車両形式	編成両数	特記事項
		上	下	25 m	その他		秒	km/h			
					○ m	△ m					
1	10:00	○		<u>72.8</u>	<u>72.4</u>	<u>69.8</u>	5.4	267	○系+△系	16	
2	10:10	○		-	-	-	2.9	248	△系	8	欠測(自動車)
3	10:20		○	<u>73.5</u>	<u>72.8</u>	-	1.7	212	□系	4	△m点欠測(自動車)
4	10:40	○		-	-	-	5.2	277	○系+△系	16	欠測(列車すれ違い)
5	10:40		○	-	-	-	データ無	-	△系	8	欠測(列車すれ違い)
6	.										
7	.										
8	.										
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											

	25 m	○ m	△ m
評価値 $L_{A,Smax}$ (dB)			
平均列車速度 (km/h)			

※ 測定列車が20本に満たない場合：その理由、状況等

記載例) 列車の運行本数が少ないため、約6時間経過した時点で得られた連続して通過する列車の測定本数は18本(欠測を除く)であったが、当該箇所では暗騒音が安定し、測定値のバラツキも比較的小さかったことから、マニュアル6.3.2の注記4の取扱いを適用し測定を終了した。